

その他の財産収支状況書



(換価の猶予を受けようとする金額が50万円以上100万円未満の場合)

年 月 日

1 住所・氏名等

住所所在地		氏名称	
-------	--	-----	--

2 申請書記載外の財産等の状況

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
	円	・		
	円	・		
	円	・		

(2) その他の財産の状況

不動産等	
国債株式等	
車両	
その他(保険等)	

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
	円	円	年 月	可・否	
	円	円	年 月	可・否	
	円	円	年 月	可・否	
	円	円	年 月	可・否	

3 猶予を受けようとする日前1年間の収入及び支出の実績

月	収入	支出	収入-支出	増減理由
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	
月	円	円	円	

※換価の猶予を受けようとする金額が50万円以上の100万円未満の場合に申請書に添付します。
 ※換価の猶予を受けようとする金額が50万円未満の場合は、申請書に添付する必要はありません。
 ※換価の猶予を受けようとする金額が100万円以上の場合は、「その他の財産収支状況書」ではなく「財産目録」「収支の明細書」を申請書に添付します。

その他の財産収支状況書



(換価の猶予を受けようとする金額が50万円以上100万円未満の場合)

XX年 7月 1日

1 住所・氏名等

住所所在地	東京都新宿区西新宿X-X-X	氏名称	主税建設株式会社
-------	----------------	-----	----------

2 申請書記載外の財産等の状況

事業を行っている場合、売掛金や貸付金等今後収入になるものについて記入します。「種類」には売掛金、貸付金、未収金等の種類を、「回収方法」には現金、振込、手形、小切手等の方法を記入します。

(1) 売掛金・貸付金等の状況

売掛先等の名称・住所	売掛金等の額	回収予定日	種類	回収方法
A建築株式会社 〇〇市△△町X-X-X	500,000 円	XX・8・25	売掛金	振込
有限会社〇〇工務店 〇〇市△△町X-X-X	180,000 円	XX・9・10	売掛金	小切手
株式会社XXホーム 〇〇市△△町X-X-X	80,000 円	XX・11・25	貸付金	現金

(2) その他の財産の状況

不動産等	会社事務所マンション(新宿区西新宿X-X-X-XXX号室)、資材置き場用土地(XX県〇〇市△△町XXX)
国債株式等	XX株式会社 上場株式200株
車両	業務用車両1台 (ミニバン 練馬330あXXXX、ローン有り)
その他(保険等)	〇〇生命保険、A銀行〇〇支店(定期預金・10万円・満期日×△年X月)

満期日が1週間以上先の定期預金はその他(保険等)に記入します。

(3) 借入金・買掛金の状況

借入先等の名称	借入金等の金額	月額返済額	返済終了(支払)年月	追加借入の可否	担保提供財産等
〇〇リース	800,000 円	15,000 円	X△年 3月	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	
〇〇銀行△△支店	9,600,000 円	80,000 円	△△年 5月	可・ <input checked="" type="radio"/> 否	会社事務所(新宿区西新宿X-X-X)、資材置き場用土地(XX県〇〇市△△町XXX)
	円	円	年 月	可・否	
	円	円	年 月	可・否	

借入のために抵当権を設定しているもの等、担保として提供している財産を記入します。

3 猶予を受けようとする日前1年間の収入及び支出の実績

月	収入	支出	収入-支出	増減理由
7月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
8月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
9月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
10月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
11月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
12月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
1月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
2月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
3月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
4月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
5月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	
6月	1,520,000 円	1,445,000 円	75,000 円	

など臨時的な収入や支出があった月については、この「増減理由」欄にその理由を記入します。
(例)
○事業用車両の売却代金として30万円の臨時的な収入があった
○製造用機械の故障による修繕費として300万円の臨時的な支出があった

※換価の猶予を受けようとする金額が50万円以上の100万円未満の場合に申請書に添付します。
 ※換価の猶予を受けようとする金額が50万円未満の場合は、申請書に添付する必要はありません。
 ※換価の猶予を受けようとする金額が100万円以上の場合は、「その他の財産収支状況書」ではなく「財産目録」「収支の明細書」を申請書に添付します。